下市町教育委員会だより

教育委員会から町民の皆様への情報通信

令和3年8月1日　第13号
奈良県下市町教育委員会
教育長　小谷　隆男　発行

校舎建設に関わる「住民説明会」を実施しました

義務教育学校建設の住民説明会を7月10日（土）の19:00から観光文化センターで開催しました。20名近くの周辺住民の方々が参加してくださり、関心の高さを感じました。質疑応答の内容を下にまとめましたのでご覧ください。説明会はこの1回で終わりますが、工事に関わることなどは、施工業者（大日本土木・森下組）と協議して対応いたしますので、今後も、気になることがありましたらお知らせください。

また、「教育委員会だより」についてのご意見もいただきましたので、こちらも引き続き改善するよう努力してまいります。

安全に工事を進め、令和5年4月には、義務教育学校「下市あきつ学園」（仮称）を無事に開校したいと願っています。皆様のご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

参加者からの質問とその回答（主なものを抜粋）

○　学校橋を大型工事車両が通行することについて

✏ 学校橋は国の法令に基づいた点検を行っており問題ありません。周辺の家屋調査については請負業者と協議し、実施する方向で考えています。

○　交通についての安全対策について

✏ 工事車両の30km以下徐行運転を徹底させます。グラウンド南門の西側に車両侵入口をつくり、ガードマンを配置します。

作業時間は、原則8:30から17:30までとし、毎月土曜日の内2日、日曜日、年末年始、お盆は休みとします。

○　騒音・粉塵対策について

✏ 建設重機については、低騒音型重機を使用し、できる限り騒音・粉塵を抑えます。

義務教育学校の先生って…？

今度できる「義務教育学校」の先生って、小学校の先生？　中学校の先生？　どっちでもない？　教員免許とかはどうなるの？

いい質問だね。ごんたくん。義務教育学校は、法律上、小学校でも中学校でもない学校なんだ。だけど、そこで勤める先生は、**小学校、中学校、両方の教員免許が必要**になるんだよ。

ただ、まだできたばかりなので、**当分の間は、どちらかの免許があれば勤められるように特例**として認められている。まだ先だけど将来的には、すべての先生が小と中両方の免許をもつようになるよ。わかったかな、ごんたくん。

「義務教育学校」

H28年の法改正で生まれた新しい学校の形。1～9年生が同一校・同一方針・同一教職員チームによる一貫教育を受ける。教員数は増え、きめ細かい対応や教科専門性を生かす授業が可能になる。

R2年現在全国に126校。下市町はR5年度開校。奈良県で7校目になる予定。

あきつん

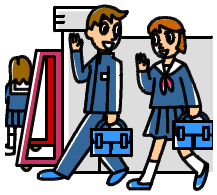
そうだ！ 図書館へ行こう！　～上田書店様より書籍寄贈～

下市口駅からの通りにある上田書店様より、約160冊の本が寄贈されました。子ども向けの絵本から、季節の花の写真を取り上げた重厚な書籍まで、様々な分野の本です。どうもありがとうございました。お父様の時代から二代続いた本屋さんで、下市町立図書館とも長い間お付き合いがありましたが、ご高齢のため、書店を閉めることにしたそうです。とても残念です。町民の皆さま、この機会に図書館に足を運んでみませんか。最新鋭の図書除菌機もぜひ体験してみてください。↓

＜図書館開館日＞
日、月、木、金、土　9:00～17:00まで（毎月第二金曜日は整理日で休館）

「制服等検討委員会」情報④

▼6月28日（月）に、義務教育学校の第3回制服等検討委員会を実施しました。保護者アンケートの結果をもとに、方向性を話し合いました。▼「子どもたちが自ら考えて判断できる力をつけてほしいという願いはあるものの、制服を支持する保護者の意見がある以上、なくしてしまうことはできないのではないか。」「自由な服を望む意見やジェンダーの多様性を考えると制服着用を義務だとするのも無理があるのではないか。」など、活発に議論されました。▼それらを元に、次回第4回7月26日で「答申（案）」を検討しまとめる予定です。



➢マスクを着けると、体内に熱がこもりやすくなります

➢こまめに水分補給をしましょう

夏休みが始まりました。

7月21日から子どもたちは夏休みに入っています。8月10日～13日は閉校期間で、先生方もお休みです。2学期は9月1日からです。いい夏休みを。

「あの校舎は今」⑫ 下市あきつ学園（仮称）

「あの校舎は今」シリーズも今回で終わりです。これまで、戦後下市に存在した11校を水彩スケッチとともに紹介してきました。それぞれの学校に歴史があり、地元の生活と密着した教育の営みがありました。地元の方々の学校への思いを聞かせて頂くことは貴重な経験でした。ありがとうございました。

今月から旧下市小校舎の解体が始まり、「下市あきつ学園」新校舎が建設されます。確かに今子どもの数は減っていますが、この下市から教育が消えることはありません。いつの日かの未来にこれまで紹介した学校が復活するかもしれません。その日を夢見て教育先進の町を推進します。

校舎建設工事に関わって、見込んでいた額より多くの補助金が国から下りることとなりました。町部局やこれまでの教育委員会の皆様が見えないところで様々に努力いただいた結果です。財政的に少し余裕ができ、感謝しています。未来を担う子どもたちのために、すばらしい校舎を建設し、それに負けない先進的な教育を目指します。

ご意見・お問い合わせは…
下市町教育委員会事務局
☎ 0747-52-1711
FAX 0747-52-5159
✉ kyoi@town.shimoichi.nara.jp